

2024.2.20 三保地区 旧山本邸
議会出席:児玉、池谷、遠藤、大野、瀬戸恵、府川
来店者:5名

おしゃべりカフェ 意見

【公共交通】

- ・三保に来るには一本道。観光に訪れても帰るには同じ道。北に抜ける道はすぐに実現はしなくても、玄倉林道(玄倉～松田町寄)や世附林道(世附から山中湖方面)に抜ける東西ルートの確立を急ぎ、周遊観光ができる道路整備を進めてほしい。
- ・中川～箒沢地区の県道整備 5 か所のうち、まだ 1 か所しか整備されていない。町は県に対しちゃんと働きかけているのか。
- ・トップシーズンの時の渋滞は住民にとっては大迷惑。
- ・清水橋の渋滞問題の解決方法は。工事車両等で今でも地元住民は困っている。スマート IC が開設されたらもっと酷くなるのではないか。

【移住・定住】

- ・三保地域では職業の選択が少ない。
- ・遊休施設が閉じたまま。開けて活用をするべき。
- ・そうした現状では三保には若い人は残れない。
- ・もっと若い人が活躍できる環境づくりを。
- ・例えば、働く世代で車通勤者が三保に住むと「ガソリン代の一部助成」とか、山間地域ならではの町独自の特例補助を考えてほしい。

【子育て環境】

- ・三保に住んでいて、子育て世代にやさしいまち…とは何なのかまるで分らない。
- ・岸幼稚園に通わせているが、少子化の波が止まらない。
子どもたちも先生も少ない。この先の岸幼稚園の存続が心配。
- ・三保から岸幼稚園に通うのにタクシーではなくて、園バス(スクールバス)を整備して、主要箇所を回って送迎してほしい。
- ・本当は岸幼稚園に通わせたいのに、車を持っていないお母さんは諦めてこども園に通わしてしまう。清水地区に岸幼稚園に通わせたい方が移住してきたが、三保からのタクシーに便乗させてもらえない。もう少し柔軟に対応してほしい。

【おしゃべりカフェ】

- ・午後開催だけではなく、午前中開催にするとお母さんたちは出やすいのでは。
- ・子育て支援センターや幼稚園で出待ちするとかすれば、子育て世代の声も拾いやすいのではないか。

【観光振興】

- ・花火大会開催については、地元の声は「8月10日にやる必要はない」として意見集約されているのに、実行委員会の判断が遅い。繁忙期の8月開催ではなく、時期をずらすなどしっかりと考えてほしい。
- ・丹沢湖でのイベントが多く、結局地元の人がボランティアに頼まれることが多い。人も少なく、高齢者も増えた。もっと山北町全体で観光立町として取り組むべき。
- ・三保ダム管理事務所と町がタイアップしてイベントを仕掛けてみては。以前は、県や企業庁、ダム管理事務所は、地域振興・観光振興に向け、町や地元と協力体制をとってきたが、最近そうした機会がほとんど見られない。

【その他】

- ・「町長と語ろう座談会」も夜ばかりではなく、日中開催にしてほしい。
- ・三保にも外国人が開発に携わってきているようで、この先どうなるのか楽しみでもあり、不安でもある。
- ・企業誘致(事業者が来る環境整備)を積極的に。受け皿をしっかりと作るべき。
- ・令和6年度予算が過去10年間で最大と報道があった。その理由が体育館代替施設に3億円もの予算が計上されるとのことだが、このタイミングでの建設について町民の理解が得られるのか。
- ・山北体育館代替施設について、もし建てるのであれば、住民や観光客などが気軽に立ち寄れる場所にし、全体の回遊性を持たせた施設にしないと、ただ単発的に建てたものになってしまうのでは。

以 上